

放射線科に通院歴のある患者さんへ（症例報告に関する情報）

本院では、以下の症例報告を予定しております。この報告は、画像情報や診療情報等を使って行います。このような報告は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この症例報告は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この症例報告に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《課題名》 ストマ静脈瘤に対してCTガイド下穿刺経皮的塞栓術で治療した一例

《機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・放射線科 病院助教 氏名 丸山 拓士

《目的》 ストマ静脈瘤に対する経皮的塞栓術の治療効果を調査するため

《期間》 研究機関の長の承認日～2028年12月31日

《方法》

●対象となる患者さん

ストマ静脈瘤の患者さんで、2020年1月1日から2023年11月30日の間に、ストマ静脈瘤の塞栓術を受けた方

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）等

《この症例報告に関する情報の提供について》

この症例報告に関して、計画書や関連する資料をお知りになりたい場合は、患者さんの個人情報や症例報告全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この症例報告での画像情報・診療情報等の取扱い》

お預かりした画像情報や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本症例報告の資金源・利益相反について》

この症例報告は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この症例報告の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 放射線科 担当医師 丸山 拓士

大阪府枚方市2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-0131